



六味丸(ろくみがん)

【処方コンセプト】 老化の予防と発育促進に。

このタイプの方は、下肢が疲れやすく、疲れると手足がほてり、口が渴くものに使う。このような方ののぼせ、目の充血、寝汗、腰痛にも。また、小児の発育障害にも応用される。

◆六味丸は腎虚の基本処方で、腎陰虚証(腎の基礎物質の不足)に用いる。一方、腎陽虚証(腎のエネルギーの不足)には八味地黄丸を用いる。陰虚は熱の症状、陽虚は冷えの症状が顕著にあらわれる。

◆小児は先天の気が充実しているので、相対的に腎陰や腎精が不足することが多く、歩行や運動、言語の発達、歯の発育の遅れ、夜尿などの症状があらわれ、六味丸で対応できる。

◆そのほか、大人でもよく見られる腎陰虚の症状には次のような特徴がある。

◎皮膚は赤みを帯びて顔色も赤い。体が熱っぽく、手足がほてる。

六味丸			○			○	○		○	○	○					6	腎陰虚
杞菊地黄丸		○	○			○	○		○	○	○	○				8	
知柏地黄丸			○	○	○	○	○		○	○	○					8	
八味地黄丸	○		○			○	○		○	○	○				○	8	腎陽虚
牛車腎気丸	○		○			○	○	○	○	○	○			○	○	10	

処方名	類方鑑別
六味丸	腎陰虚のファーストチョイス。小児の発育障害と老化の予防に使われる。
杞菊地黄丸	六味丸に目の疲れ、かすみや充血をとる枸杞子・菊花を加えて、六味丸タイプに目の症状を伴うものに使われる。
知柏地黄丸	六味丸にほてり、のぼせ、イライラなどの熱をとる知母・黄柏を加えて、六味丸タイプで熱症状、イライラが強いものに使われる。
八味地黄丸	腎陽虚のファーストチョイス。腰から下が冷えると重だるく、夜間排尿のある方に使われる。
牛車腎気丸	八味地黄丸にむくみ、しびれをとる牛膝・車前子を加えて、八味地黄丸の働きをさらに強化した。